

【2022年度 企画運営委員会 事業計画】

委員長校 : 神戸学院大学

副委員長校 : 関西学院大学

委員校 : 関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸常盤大学、神戸松蔭女子学院大学、
神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸親和女子大学、兵庫県立大学 計11校

＜目的＞

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4.県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

- 取組課題⑧「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」
(柱3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供)
- 取組課題⑨「大学資源を活用する地域プラットフォームの形成」
(柱4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築)
- 取組課題⑩「県内大学が活性化する事業運営体制の整備」
(柱4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築)

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

＜内容＞ 取組課題⑧～⑩に対する「個別取組」は、下記の通り。

- 【取組課題⑧】(1)リカレント教育の普及促進に向けた取組
(2)加盟校のリカレント教育に関する情報発信
- 【取組課題⑨】(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築
(2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
- 【取組課題⑩】(1)加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

上記課題について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5カ年において段階的に取り組む。期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討し、各事業委員会と連携して事業推進を担当する。

＜期待される効果＞

【取組課題⑧】「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」
近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。

【取組課題⑨】大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。

【取組課題⑩】県内大学が活性化する事業運営体制の整備
事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学が活性化につながる。

課題⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進		予算額
取組 1・2	・リカレント教育の普及促進に向けた取組 ・加盟校のリカレント教育に関する情報発信	500,000円 ※受託事業収入
課題⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成		予算額
取組 1・2	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	0円
課題⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備		予算額
取組1	・加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	0円

【2022年度 企画運営委員会 事業計画(課題⑧取組1・2)】

【⑧取組1・2】達成目標	【取組1】各年参加者50名以上 【取組2】各年10校以上
【⑧取組1・2】活動指標	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)

課題⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進			
達成目標 【⑧取組1・2】	各年参加者50名以上 各年10校以上			
課題を解決する 取組概要 【⑧取組1・2】	近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。			
活動指標 【⑧取組1・2】	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)			
内容 (計画)	<p>兵庫県委託事業「令和4年リカレント教育推進事業」(委託期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日)を受託・運営。業務内容は以下の通り(予定)。</p> <p>【取組1】 <u>リカレント教育促進に向けた気運醸成のための取組</u> (1)リカレント教育先進大学等による講演 県内大学の教職員や企業の人事担当者を対象にリカレント教育の理解促進を図るための講演を実施する。 開催時期:2022年8月～2023年3月予定(1回)</p> <p>(2)リカレント教育に関する県内大学、企業との意見交換会 企業のリカレント教育に関するニーズを把握するため、大学の教職員と企業人事担当者との意見交換会を実施する。 開催時期:2022年8月～2023年3月予定(1回)</p> <p>【取組2】 <u>企業、受講希望者に対する情報発信</u> 県内大学のリカレント講座のPR 県民や企業人事担当者を対象に県内大学のリカレント教育を紹介するリカレントフェアサイト運用等による情報発信を通年で実施する。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	リカレントフォーラムに参画する加盟校・企業等の拡充と加盟校の講座情報の取 取・発信の充実に取り組む。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	500,000円			

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反 映)	
------------------------------------	--

【2022年度 企画運営委員会 事業計画(課題⑨取組1・2)】

【⑨取組1・2】達成目標	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築
【⑨取組1・2】活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)

課題⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成		
達成目標 【⑨取組1・2】	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築		
課題を解決する 取組概要 【⑨取組1・2】	(1) 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 (2) 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築		
活動指標 【⑨取組1・2】	大学・企業関係者等による意見交換会(年1回以上)		
内容 (計画)	<p>【取組1】 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制について意見交換を行う。加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。</p> <p>今年度は、以下において定期的に意見交換を行う。 ・企画運営委員会での懇談 ・産官学連携協議会での懇談 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換</p> <p>【取組2】 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、大学間で必要な協力や情報提供の体制のあり方について、検討を行う。加盟校に対してアンケートによる情報収集を行い、ニーズの把握と情報共有、必要に応じて情報交換会等を実施する。</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)	災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、大学プラットフォームにおけるリスクマネジメント体制の構築に向けて検討を開始する。加盟校に対してアンケート等を行い、ニーズの把握、情報収集・共有を行う。		
事業収支	収入	支出	収支
	0円		

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【2022年度 企画運営委員会 事業計画(課題⑩)】

【⑩取組1】達成目標	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築
【⑩取組1】活動指標	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)

課題⑩	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進			
達成目標	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築			
課題を解決する取組概要	加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。 同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。			
活動指標	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)			
内容(計画)	<p>加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参画できる事業運営体制と仕組みについて、以下において検討を行う。 中長期計画Ⅱ期の初年度にあたる本年度は、6事業委員会委員長・副委員長とともに、コンソーシアム活動全体に対する理解の促進、事業委員会制による事業運営体制の改善・検討に着手する。 具体的には、下記委員会において、事業運営体制についての意見交換を定期的に懇談する。</p> <p>・企画運営委員会(原則、月1回開催) なお、小グループでの課題の共有、プロジェクト型での事業推進についても加盟校等からのニーズがあれば、企画運営委員会において検討し、対応する。</p>			
新しい試み等(事業計画に記載)	加盟校が参画しやすい事業推進と運営体制を検討し、整備に着手する			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円			

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	
-------------------------------	--

2022年度 企画運営委員会 事業予算

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算						委員会 予算	
		⑧		⑨		⑩			
		県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進		大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成		県内大学が活性化する 事業運営体制の整備		内訳	予算額
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	100,000							100,000
	助成事業収入	0							
	受託事業収入	500,000	兵庫県受託事業	500,000					
	プログラム収入	0							
	雑収入	0							
	戻入金	0							
	計	600,000		500,000		0		0	
支出	会議費	0							
	旅費交通費	72,000	交通費	72,000					
	通信運搬費	60,000	Zoom、wifi等	55,000				郵送料等	5,000
	消耗品費	40,000	文具等	20,000				コピー用紙等	20,000
	新聞図書費	5,000	参考図書	5,000					
	印刷製本費	22,000	印刷費	22,000					
	光熱水料費	0							
	賃借料	196,000	PCリース・会場費等	146,000				会場費等	50,000
	保険料	0							
	講師謝金	180,000	謝金	180,000					
	租税公課	0							
	支払手数料	0							
	諸会費	25,000						フォーラム参加費等	25,000
	委託費	0							
	人件費	0							
	接待交際費	0							
	支払支援金	0							
雑費	0								
計	600,000		500,000		0		0		100,000

収入-支出	0
-------	---